計画の実行について

今後は本計画目標達成のため，「各地区地域福祉活動計画実行委員会」を組織し，地域住民とともに計画の実行を進めます。また，進捗状況の把握や情報交換を目的とした連絡会を，必要に応じて開催します。

更に，吉野川市社会福祉協議会では，住民が主体となって策定した「吉野川市地域福祉活動計画」を吉野川市社会福祉協議会の事業計画にも反映し，これから市内各地域で始まる地域福祉活動計画の実践を，積極的に支援していきます。

併せて，吉野川市地域福祉計画とも連携しながら，協働でのまちづくりを進めてまいります。

『ともに支えあい，誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり』実現のため，本計画への，多くの住民のみなさまのご参加・ご協力を，心よりお願いいたします。

● 社会福祉法人 **吉野川市社会福祉協議会**

〒779-3304 徳島県吉野川市川島町宮島736-1（吉野川合同庁舎2階）

総　務　課　TEL.0883-25-5555　　福祉サービス課　TEL.0883-25-5528

地域福祉課　TEL.0883-25-5533　　FAX.0883-25-5528（代表）

● **鴨島支所**

〒776-0011 吉野川市鴨島町鴨島甲2-1

TEL.0883-26-0131　FAX.0883-26-0133

● **山川支所**

〒779-3401 吉野川市山川町翁喜台117

TEL.0883-42-2089　FAX.0883-42-6888

● **美郷支所**

〒779-3504 吉野川市美郷字毛無92-6

TEL.0883-43-2714　FAX.0883-43-2533

● **近久児童館**

〒779-3306 吉野川市川島町学字近久157-2

TEL.0883-25-4985（FAX兼用）

吉野川市 地域福祉活動計画

平成26年度（2014）～平成30年度（2018）

ダイジェスト版

吉野川市社協
イメージキャラクター
あい吉くん

平成26年3月

吉野川市地域福祉活動計画策定委員会

社会福祉法人 吉野川市社会福祉協議会

地域福祉活動計画策定の趣旨

私たちの社会，とりわけ福祉に関する環境は急速な変化を見せており，少子高齢化や核家族化の進行，価値観や生活習慣そして地域社会の変容などにより，地域のつながりや支えあいが希薄化し，さまざまな生活課題が生じています。

こうした状況の中，「ともに支えあい安心して暮らせる福祉のまちづくり」を実現していくためには，公的な福祉サービスの充実はもちろんのこと，住民自身が地域の生活課題を共有し，その解決に向けて話しあい，主体的な参加と行動によって支えあう地域福祉活動の推進が重要となっています。

「地域福祉活動計画」とは，地域社会にある福祉問題や課題を解決することを目的として，住民・小地域福祉活動・在宅サービスなどの福祉活動の具体的な内容を定める計画であり，地域福祉の中核団体である社会福祉協議会が，地域住民や関係団体と役割分担を図りながら目指す目標や活動指針を示すものです。

今回，学識経験者や各種団体，施設，行政，福祉関係機関，住民の代表者等からなる「吉野川市地域福祉活動計画策定委員会」を設置し，計画内容についての検討・審議を行いながら，鴨島・川島・山川・美郷の地区ごとに策定しました。

吉野川市地域福祉計画との連携

吉野川市は社会福祉法107条に基づき，平成25年3月に「吉野川市地域福祉計画」を策定しました。「地域福祉計画」は，地域福祉推進のあり方や，施策・支援体制を講じるための行政計画です。

「吉野川市地域福祉活動計画」は，「吉野川市地域福祉計画」の基本的な考え方を受け，連携・協働しながら，民間の立場から地域福祉活動を推進するために策定する計画です。

吉野川市
地域福祉計画
社会福祉法107条に基づき，公的責任において，市全体で総合的に地域福祉を進めるうえでの理念と仕組みづくりの方向性を示すための「行政計画」

連携・協働

吉野川市社会福祉協議会
地域福祉活動計画
社会福祉協議会が，市民やさまざまな福祉関係機関・団体と提携・協力しながら，地域福祉活動を具体的に推進していくための「民間の活動計画」

計画期間

平成26年度から平成30年度までの5か年計画とし,吉野川市が策定する各行政計画との整合性と時代のニーズに合うように,計画期間内でも必要に応じて見直しを行うものとします。

平成26年度 → 平成30年度 → 平成31年度

見直し

吉野川市の状況

吉野川市は，平成16年10月1日に，徳島県麻植郡の鴨島町，川島町，山川町，美郷村が合併して発足しました。

本市は徳島県の北部，吉野川の中流域南岸に位置し，同川を挟んで北は阿波市，東から南は名西郡，西は美馬市に隣接しています。市域南部は四国山地の北部にあたる山地で，高越山をはじめとする急峻な山々が連なっており，これらの山々を水源とする飯尾川・桑村川・学島川・川田川などが市の北辺を東流し，吉野川に合流しています。

県庁所在地の徳島市をはじめ，徳島空港，高松空港，徳島自動車道の脇町・土成各インターチェンジが約30㎞圏内にあって，どこに行くにもそれほど不都合は感じない位置関係を有しており，都市圏の機能分担の可能性を持ち合わせています。

気候は，吉野川流域の平野部は，年平均気温15℃前後で，温暖で雨の少ない地域です。また，山間部は平野部に比べ日照時間は短く気温も冷涼となっています。

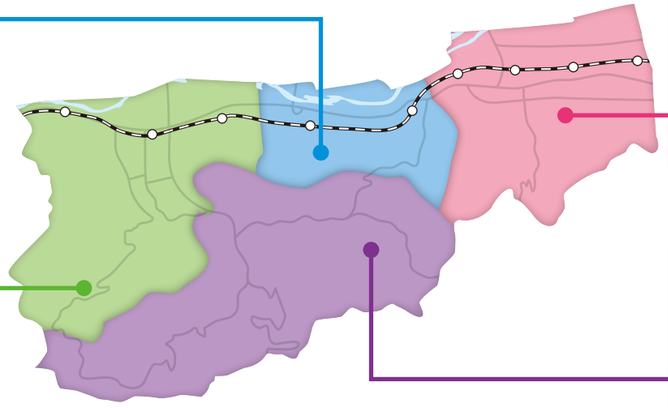
川島地区はブドウやニンニクの産地として知られ，美郷地区では梅とその加工品が特産品です。美郷のホタルと，船窪のオンツツジ群落は，ともに国の天然記念物に指定されています。また，四国八十八か所第11番札所藤井寺や，阿波修験道発祥の地とされる高越寺など，歴史文化財も数多く残されており，豊かな自然と古代から栄えた歴史に恵まれた，魅力あふれるまちです。

川島地区

人口	7,916人
男性	3,752人
女性	4,164人
高齢化率	30.08%

鴨島地区

人口	24,005人
男性	11,319人
女性	12,686人
高齢化率	30.71%



山川地区

人口	10,719人
男性	5,045人
女性	5,674人
高齢化率	33.03%

美郷地区

人口	1,113人
男性	533人
女性	580人
高齢化率	49.15%

吉野川市全体のデータ（平成26年3月31日現在）

面積	144.19㎢	総人口	43,753人	65歳以上人口	13,842人
自治会数	373自治会	男　性	20,649人	65歳以上ひとり暮らし高齢者	3,324人
世帯数	17,949世帯	女　性	23,104人	高齢化率	31.64%

鴨島地区 地域福祉活動計画

キャッチフレーズ

良い人 カモン！手をつなぐ鴨島

●検討・試行　◎実施

自然・環境

課題	目標	なにを（活動内容）	どうする（具体的行動）	いつ（実施時期） H26 H27 H28 H29 H30
●江川が汚い。	●ほたるが飛ぶ清流にしよう！	●油をそのまま捨てない。 ●洗剤について考える。 ●川岸を清掃する。	●廃油の収集容器に入れて，回収場所へ持っていく。 ●環境に優しい洗剤を使うように心がける。 ●地域住民に呼びかけて清掃の習慣をつくる。	◎
●ごみなどを捨てる人がいる。	●ごみのない町をめざそう！	●ごみ拾いをする。	●ごみ袋を持って散歩をする。 ●吉野川市「ごみゼロの日」の清掃活動に積極的に参加する。	◎
●エコ活動への関心が薄い。	●エコ活動に取り組もう！	●ごみゼロの広報をする。 ●ごみゼロの日を増やす。 ●不法投棄をなくす。	●啓発用のポスターや標語を募集・作成し掲げる。	● ◎
		●手作りエコバッグ等教室の開催 ●エコ活動の内容をＰＲする。	●マイエコバッグ等をつくる。 ●町内のエコ活動に積極的に参加する。	● ◎

ふれあい（交流）

課題	目標	なにを（活動内容）	どうする（具体的行動）	いつ（実施時期） H26 H27 H28 H29 H30
●地域コミュニティの強化	●地域活動へ積極的に参加をしよう。	●子どもと高齢者のふれあいの場所，機会を多くする。 ●地区文化祭 ●伝統文化の掘り起こし	●ふれあい食事会，クリスマス会，幼稚園児・学校等との交流などの継続 ●子育て世代の参加を促す。 ●イベントの情報提供（誘いかける） ●獅子舞，和太鼓等を披露する場を増やす。	◎
	●あいさつ・声かけ運動を推進しよう。	●小地域福祉ネットワークの拡大強化	●声かけから「見守り」を強化する。 ●「ありがとう」と「ごめんなさい」の心づかいを大切にする。 ●近所に関心を持つ。	◎

生活（地域でのたすけあい）

課題	目標	なにを（活動内容）	どうする（具体的行動）	いつ（実施時期） H26 H27 H28 H29 H30
●地域の人が子どもに無関心である。	●地域で子どもを見守り育てる。	●近所の子どもを知る。	●大人から子どもにあいさつをする。	◎
●近所同士でたすけあいができていない。	●たすけあいの心を持とう。	●一人ひとりが福祉に関する意識を持つ。	●「いけるで？」と一声かける。 ●防災訓練や福祉講座に積極的に参加する。	◎
●子どもや高齢者の交通事故が多い。	●交通安全運動を進めよう。	●パトロールや立哨 ●道路の点検 ●老人会等への指導	●登下校時，交代で見守りパトロールをする。 ●登校時間帯は，通学路を車で通るのを避ける。 ●交通安全教室の参加を呼びかける。	◎

健康

課題	目標	なにを（活動内容）	どうする（具体的行動）	いつ（実施時期） H26 H27 H28 H29 H30
●健康維持に対する意識不足	●運動不足を解消しよう。	●ラジオ体操やウォーキングをする。	●各地区での場所を決め，声かけ運動をして広めていく。 ●歩こう会に参加する。	◎
	●食生活から健康づくり	●世代間交流スポーツ大会を開く。	●町民ラジオ体操大会・町民ウォーキング大会を開催する。	● ◎
		●食生活の改善運動	●栄養士さんの指導を受けて調理実習をする。性別，年齢を問わず参加してもらう。 ●鴨島健康レシピをつくり配布する。	◎
		●病気に対する知識を広める。	●健康についての講演会を開く。 ●健康診断受診の推進，啓発	● ◎
				● ◎
				◎

川島地区 地域福祉活動計画

キャッチフレーズ

やさしさいっぱい城下町 川島

●検討・試行　◎実施

健康

課題	目標	なにを（活動内容）	どうする（具体的行動）	いつ（実施時期） H26 H27 H28 H29 H30
●徳島の糖尿病死亡率は全国ワースト1位であり，健康に対する意識が低い。	●運動不足の解消に取り組む。	●ゆっくり歩こう会（ウォーキング大会）の開催	●192号線の堤防を歩く。	●　◎→
	●食生活の改善を図る。	●ラジオ体操の実施を呼びかける。	●啓発パンフレットを配布し，ラジオ体操を習慣化する。	●◎→
		●栄養士による講習会	●健康食レシピの作成と，調理実習をする。	●◎→

安全・安心

課題	目標	なにを（活動内容）	どうする（具体的行動）	いつ（実施時期） H26 H27 H28 H29 H30
●子どもの安全・安心の確保が必要である。	●子どもたちが安心してのびのびと成長できる地域づくりを目指す。	●現在実施中の登下校時の見守り・声かけ活動をなお一層充実，強化する。（不審者対策等）	●登下校時に屋外で見守りができるように配慮する。 ●スクールガード等が，子どもたちと登下校を共にする。	●◎→
●高齢者が地域で孤立しないための方策が必要である。	●地区社協活動（見守りネットワーク）を強化する。	●現在実施中の高齢者の見守り活動を引き続き推進する。	●定期的にひとり暮らし・高齢者世帯を見守る。（民生委員，老人会，婦人会，地区協力員，郵便局員，新聞配達員等に依頼する）	●◎→
●災害に対する備えが万全でない。	●防災意識の高揚を図る。（自助・共助・公助）	●防災訓練	●年1回以上防災訓練を実施する。 ●防災用資機材の点検をする。	●◎→

環境

課題	目標	なにを（活動内容）	どうする（具体的行動）	いつ（実施時期） H26 H27 H28 H29 H30
●自然環境に対する意識が低い。	●花いっぱい運動を実施する。	●花を植える。	●緑の募金等の花の種で使わない分を集め，区分けして植える。（直まき）	●◎→
	●ポイ捨てを防止する。	●ゴミ拾い	●散歩に行く時，ゴミ袋を持って行く。	●◎→
●身近な場所に店がない。	●買い物の不便さを解消する。	●声かけをして必要な物を買ってくる。	●近所，友達で協力して買い物を代行する。 ●自治会でどんな方が困っているのか調査する。	●◎→

ふれあい・交流

課題	目標	なにを（活動内容）	どうする（具体的行動）	いつ（実施時期） H26 H27 H28 H29 H30
●世代間交流の場が少ない。	●世代間で集まってできる行事を実施する。	●町民運動会の復活	●年齢別にできる種目と，全員でできる種目をそれぞれ考える。 ●あらゆる世代が集まり，盛大に運動会を開催する。	●→◎→
●少子高齢化・核家族化が進行している。	●子ども・高齢者を地域で見守る。	●オアシス運動の実施	●道で出会った人や通りがかった人にあいさつをする。	●◎→
●地域における人間関係が希薄である。	●高齢者の交流の場をつくる。	●サロンの充実とPR	●小グループのサロンを全町に広げる。	●◎→

山川地区 地域福祉活動計画

キャッチフレーズ

地域のために みんなの協力 私の実行！
～世代をこえて，手をつなぐ町 やまかわ～

●検討・試行　◎実施

人

課題	目標	なにを（活動内容）	どうする（具体的行動）	いつ（実施時期） H26 H27 H28 H29 H30
●少子高齢化への対応 ●地域間のコミュニケーションの希薄化	●“人と人がつながり･ふれあう”まちづくり	●地域でつながろう。 ●声かけをしよう。	●地域にサロン活動を広める。 ●あいさつ運動の実施 ●子どもとお年寄りの見守り活動の強化	●→◎→ ●◎→

環境

課題	目標	なにを（活動内容）	どうする（具体的行動）	いつ（実施時期） H26 H27 H28 H29 H30
●空き家や休耕地の増加 ●ゴミ問題	●“みんなで助けあうきれいな”まちづくり	●ゴミを減らそう。 ●休耕地等を活用しよう。	●ゴミ処理に関する講演会の開催 ●ゴミパトロール隊の設置 ●空き家の情報を市役所に報告 ●休耕地のレンタル活用	●◎→ ●→◎→

健康

課題	目標	なにを（活動内容）	どうする（具体的行動）	いつ（実施時期） H26 H27 H28 H29 H30
●運動不足（メタボ・糖尿病の増加）の解消 ●食生活の改善	●“健康で明るくすごせる”まちづくり	●歩こう。 ●学ぼう。	●地域でウォーキング仲間をつくろう。 ●地区社協だよりや公民館だより，自治会回覧等を活用し，啓発を図る。 ●ヘルスメイト指導の健康料理レシピの配布 ●ヘルスメイト指導の健康料理教室の実施 ●各種広報等を通しての啓発周知	●◎→ ●◎→

安全安心

課題	目標	なにを（活動内容）	どうする（具体的行動）	いつ（実施時期） H26 H27 H28 H29 H30
●災害に応じた防災計画の策定 ●子どもの見守り活動（スクールガード）の推進	●“ネットワークで支えあう”まちづくり	●防災防犯の意識を高めよう。 ●スクールガードを増やそう。	●地域防災訓練への全世帯参加促進活動 ●各校区でPTA･育成会･山水会･学校で話し合う。	●◎→ ●◎→

交流の場

課題	目標	なにを（活動内容）	どうする（具体的行動）	いつ（実施時期） H26 H27 H28 H29 H30
●地域イベント行事の減少 ●活動拠点が少ない。（食事会などの実施場所）	●おしりあい“みんなが寄りあう”まちづくり	●交流の場をつくろう。 ●公園の整備をしよう。 ●活動場所を利用しやすいように改善しよう。	●三世代交流運動会の開催 ●地域交流夏祭りの開催	●◎→ ●◎→

社会資源

課題	目標	なにを（活動内容）	どうする（具体的行動）	いつ（実施時期） H26 H27 H28 H29 H30
●観光資源の有効利用	●“自然を生かした”まちづくり	●計画的な植樹を進めよう。	●高越山の登山道や川田川の遊歩道に，四季を感じ楽しむ桜･もみじ等の植樹活動 ●空き地や休耕地を活用した花づくり	●◎→ ●◎→

美郷地区 地域福祉活動計画

キャッチフレーズ

山里に まごころ光る 地域の絆
～めざせ100才 美郷で暮らそう～

●検討・試行　◎実施

自然

課題	目標	なにを（活動内容）	どうする（具体的行動）	いつ（実施時期） H26 H27 H28 H29 H30
●若い人が少なくなり，農林業の後継者がいなくて田畑の管理が難しい。	●荒れ地を美観地区に！	●非耕作地に花の種をまき，美観を取り戻す。 ●非耕作地の調査	●花の種をまく。（そば，コスモスなど）	◎
●サル，イノシシ，シカなどに野菜を食い荒らされる。	●有害な野生動物を減らそう。	●野生動物がこないような対策を取る。	●畑に囲いをする。 ●広葉樹林を増やす。 ●追っ払い活動（花火等）	◎
		●食材として利用し，料理として提供する。	●みさと屋で料理を出す。 ●民宿への料理の提案と実施	◎

交流

課題	目標	なにを（活動内容）	どうする（具体的行動）	いつ（実施時期） H26 H27 H28 H29 H30
●参加する人が少なく，若者や子どもの集落の行事ができない。助けあいが薄れている。	●若者や子どもが参加しやすい行事をする。	●初午（はつうま）への参加者を増やす。	●学校へ働きかける。 ●自治会への回覧 ●各種団体への呼びかけ	◎
●若者や子どもが少なく，集落の人も少なくなりコミュニケーションがとれていない。	●集まる機会を増やす。	●運動会 ●遠足	●実行委員会を立ち上げる。	● ◎
	●近所の声かけ	●声かけ，安否確認 ふれあいサロンの拡充を図る。 ●ネットワーク活動の拡充 ●近所の人にあいさつをする。	●声かけ，話し相手をする。サロンへの参加を呼びかける。 ●1ヵ月に2回ぐらい巡回する。 ●朝のあいさつ運動をおこす。	◎

生活環境

課題	目標	なにを（活動内容）	どうする（具体的行動）	いつ（実施時期） H26 H27 H28 H29 H30
●移動手段がなく不便な人が多いのではないか？	●本当に支援が必要な事柄（人や物など内容について）を把握する。	●困っていること，手伝ってほしいこと，不安に思っていることをアンケート調査する。	●アンケート様式を作成 ●調査結果によりマップ作りを行う。	◎